

平成 28 年度第 1 回安曇野市博物館協議会 会議概要

- 1 会議名 平成 28 年度第 1 回安曇野市博物館協議会
- 2 日 時 平成 28 年 5 月 20 日 午後 1 時 30 分から午後 3 時 30 分まで
- 3 会 場 安曇野市役所本庁舎 3 階 共用会議室 306
- 4 出席者 河合委員、滝沢委員、林委員、赤沼委員、浅川委員、金井委員、笹本委員
 高原委員、細野委員、宮澤委員、山田教育部長、那須野文化課長、百瀬館長
 (豊科郷土博物館)、荒深館長(豊科近代美術館・飯沼飛行士記念館)、伊藤
 学芸員(田淵行男記念館)、大月館長(穂高陶芸会館)、宮下館長(高橋節郎
 記念美術館)、清水館長(貞享義民記念館)、内川館長(臼井吉見文学館)
- 5 担当課出席者 三澤文化振興係長、西山博物館係長、逸見博物館係主査、倉石博物館係
 員、松田博物館係員、丸山文化振興係主事
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴人 0 人 記者 1 人
- 8 会議概要作成年月日 平成 28 年 5 月 31 日

協 議 事 項 等

○会議の概要

- 1 開 会 (那須野文化課長)
- 2 あいさつ (山田教育部長)
- 3 辞令交付
- 4 自己紹介
- 5 説 明 (博物館協議会について)
- 6 会長及び副会長の選出
- 7 報告・協議
 - (1) 平成 27 年度各館事業報告
 - (2) その他
- 8 その他
- 9 閉 会 (那須野文化課長)

○会長及び副会長の選任

安曇野市博物館条例第 21 条に基づき、委員による互選により、会長に笹本正治委員、副会長に滝沢知子委員が選任される。

○協議概要

(1) 平成 27 年度各館事業報告

- 資料内容説明(各博物館・美術館長)
- 委員からの意見

会長・・・それではご質問・ご意見をお願いします。やるべきことはたくさんあるが、全てできるとは限らない。人がいなくてどうにもならないという状況の中で、委員の皆様にはこうしたら良くなるという、今後の事業展開につながるようなご意見をいただきたいと思います。本日もご協力をよろしくお願いたします。

委員・・・統計について、各館の事業報告の中で館の利用者数あるいは講座の参加者数が何人というような数字があるが、この数字は各館の入館者数の統計表のどこ

に入るのでしょうか。よく見ると館ごとに統計表の書式が違うので、書式を統一すれば、このデータも色々なものに活用できると思います。

会長・・ 事務局の方で今後対応していただいて、統一した書式をつくっていただきたい。各館はその書式に沿って入力するようご協力をお願いします。

委員・・ 豊科郷土博物館は良い活動をしていると思います。県の会議の場等でもお褒めの言葉をいただいています。この充実した活動を続けていくためにも継続的に学芸業務を担っていく人材の育成が欠かせません。現在の質を担保しながら、いかに次代を担える学芸員を育てるかということについて、今後の構想はありますか。

事務局・・ 新市立博物館構想の中では、財政等の事情から、新しい博物館の建設は長期的な視点で考えるという結論になっております。その代わりに、学芸員体制の充実を今後の主要な条件整備の一つとして位置付けてあります。

学芸員体制の充実については、継続的に強く要求しているものの、安曇野市の職員配置等の状況から、非常に厳しいというのが現状です。体制が整うまでは、引き続き非常勤の学芸員に入っただいて、カバーしながら急場をしのいでいくということになっております。

会長・・ 新市立博物館の設置は厳しい状況であり、その代わりしっかりと学芸員体制をつくるべきということです。学芸員がしっかりしないと新しい博物館はつくれません。むしろ財産になるべきは博物館そのものよりも学芸員だという認識のもとに動いていただいています。

お褒めの言葉があったように、各館が以前と比べて大きく飛躍しています。大変なのは承知だが、皆さん今まで以上に汗をかいていただきたいと思います。

郷土博・・ 他所で館に非常勤職員しかいないと言うと非常に驚かれます。単年度契約である非常勤職員に対して、2、3年後の企画を考えろというのは非常にむごいことでもあります。博物館構想のこともあるが、こういった現実を見た上で、今後の学芸員体制の充実を強くお願いしたいと思います。

会長・・ 館の知名度を上げないと自治体も予算をつけてくれず、周りもその重要性を分かってくれない。博物館が周りから必要とされることで、予算や人材を要求することができます。これを認識した上で、どういう方法があるかということ、今後考えていただきたい。

委員・・ 学芸員資格を取った若い人たちが、学芸員職に就けず他の職種に流れていくという現状があります。個々の館がこういった課題に応えることによって、道を開いていくことが重要だと思います。

豊科近代美術館について、委託料の予算と決算の差額が200万ほどあるのはなぜでしょうか。

資料の収集について、現在の美術館における資料収集の仕組みがどうなっているのか伺いたいと思います。

近美・・ 委託料について、『きぼう』との開館時間のすり合わせの中で、希望があれば、夜9時30分まで貸館部分について利用できるようになっており、この夜間の警備業務を予算化してあります。昨年度は夜間利用の申込がなく、夜間警備の必要がなかったため、実績として減額となっています。

事務局・・ 資料収集について、昨年度美術資料等選定委員会という委員会を設けました。豊科近代美術館、田淵行男記念館、高橋節郎記念美術館において収集しようとする作品、あるいは寄贈を受けた作品等について、選定委員会での審議を経て、収蔵するか否かを決定します。どういった作品を対象として収集するかは、各館が選定委員会に希望をあげるようになっています。

委員・・ 年間行事ガイドについて、メインとなるメニューが欲しい。あるいはスタンブラリー的なものを盛り込んではどうでしょうか。市内の小中学生に配るということであれば、工夫することでよい宣伝になると思います。

学芸員の問題については、安曇野市だけで考えず、近隣自治体と学芸員をシェアするような仕組みがあれば良いと思います。学芸員の職務を保証し、全体的にバランスが取れるシステムが必要です。どんないい人材がいても、自分の将来が不安定であれば、そこで働き続けてもらうのは難しいと思います。

会長・・ 年間行事ガイドについて、重要なのは目的が何で相手は誰かということです。こういうものが新しくできたこと自体は素晴らしいことですので、今後はどの部分を誰に見てもらいたいのか、具体化しながらより良いものを検討していただきたいと思います。

学芸員の問題については、市全体が学芸員の必要性を理解することが必要です。これからどうしていくべきか、我々も考えていきたいと思います。また、年齢構成の問題もあり、新しく博物館をつくる時にある一定の年齢層の人だけ採用してしまうと後に続きません。そのことも含めて戦略的に動いていくことが必要です。

ミュージアムも数が多ければ良いというわけではありません。どれだけ学芸員が勉強できる環境が整っているかということが重要です。委員の皆様には、学芸員が動きやすくなるためにどういう活動をしたらいいのか、という視点から動いていただきたいと思います。

委員・・ 年間行事ガイドについて、ネット環境に対応することを考えてみてはどうでしょうか。年間ガイドから無料チケットがダウンロードできるとか、もしくは年間ガイドからアクセスしたページを見せれば親御さんが無料で入館できるとか、そういった呼び水をつくってもいいかと思います。

博物館法の観点からいえば、ミュージアムは本来無料で利用できるものであり、そもそも無料と思えば今言ったような仕掛けがあってもいいかと思います。

会長・・ ネット環境への対応はまだまだ弱い。ただ対応すればいいというわけでもなく、どのように活用していくかを考えることが重要です。

各館は、入館者を増やすということと、入館料収入を上げるということの相反する目標の中で板挟みになっています。収入が減ってもいいという覚悟があれば無料利用の対応はできると思います。逆に収入だけ増やしたいのであれば、人数のことは一切考えないでいただきたい。今、安曇野市では小中学生の無料化に始まり、徐々にその範囲を広げてきています。ほかの方法について、色々な可能性を今後検討してまいりたいと思います。

委員・・ 豊科近代美術館の名称について、変更の予定はありますか。

事務局・・ 文化施設の名称変更については、今後検討するという事になっております。他の施設等で旧町村名を残しているものが多くあり、それらと整合性を取っていくということです。

委員・・ 小さい施設には学芸員がいないことが多く、さらに指定管理施設の場合、管理団体が変われば継続性がなくなってしまう。管理団体が担うのは管理・運営のみで、研究・資料収集には正規職員の学芸員があたるという体制があればいいと思います。

また、スペースを融通しあうといったような、近隣の他施設と連携して色々なことができればいいと思います。

景観を考えつつ館周囲の手入れをしていく必要があると思います。

会長・・ 予算等も限られておりますので、限られた条件の中でどういったことができるか、というようなご意見をお願いします。

委員・ ・ 飯沼飛行士記念館について、飯沼飛行士が亡くなった経緯をかたるものとして当時の新聞記事がそのまま展示されているが、実際の死因とは異なるところがある。これについては展示の変更等をお考えでしょうか。

飯沼館・ ・ 館の展示は、ご遺族の意思に沿うという意味であるような形になっております。

会長・ ・ ほかにご意見ありますでしょうか。

委員・ ・ 節郎館について、ミュージアムグッズとしてクリアファイルがあつて良かった。来館者としてはこのような行った記念になるものがあると良いと思います。手ごろな値段で入館できて、プラスでそういうものを売れば収入になるのではとも思います。

館の防犯について、外から容易に入れる箇所が不安です。一定時間ごとに巡回する等、気にかけてもらえればよいかと思ひます。

会長・ ・ 少し話は違ひますが、来館者や職員の安全確保、或いは収蔵資料の安全確保についても一度確認しなければならぬと思ひます。災害時の対応マニュアル等、市として全体をまとめていかなければならぬと思ひますので、今後是非ともご検討いただきたいと思ひます。

委員・ ・ 若い人に訴へるためには、ホームページやツイッター、フェイスブックのようなソーシャルネットワークを通じたPRを行うと効果的ではないかと思ひます。

会長・ ・ いかにして多くの人に訴へかけていくかという時に、ソーシャルネットワークはすごく重要です。各館は少しずつその方法についてお考えいただいて、それを横につなげていく方策を模索したいと思ひます。

委員・ ・ 学校ミュージアムが一般の人でも見られるようにということで、出前展をやっていただいて良かった。できれば今後も色々な会場でやっていただきたいと思ひます。各館の負担を軽減する形を考えていただければと思ひます。

会長・ ・ 巡回展等を見てもらった人は、館に来てくれた人と同等としてカウントする。実績として数字になると、館の力になるので、上手く利用してもらいたいと思ひます。

委員・ ・ 美術館・博物館で子どもが体験的に学習できるのはありがたいです。行って満足ではなく、例えば学校の授業で行った後、その子にまたここに行きたいと思わせるようなしかけが欲しいです。子どもたちの主体的な学びを支える仕組みを考えてほしいと思ひます。

会長・ ・ 博物館・美術館は、子どもに「何だろう」と考えさせる最大の装置です。博物館は単純に解答を出すところではないということ、皆さん十分に分かつていらっしやいます。

学校側は博物館に丸投げせず、どのように博物館を活用するか考えておいてほしいと思ひます。そのためにも、学校の意見をここで言っただいて、なおかつ博物館からもそれに対して意見を言える場にしていきたくと思ひます。

委員・ ・ それぞれの館が安曇野市の文化振興のために充実した活動を展開していると思ひます。人や財源の少ない中、知恵を絞らつて活躍されている姿が見られます。さらなる発展のためにも、色々な課題に対して一つ一つ地道に話し合ひながら、乗り越えていっていただきたいと願つております。

会長・ ・ ありがとうございます。私どもの委員会は、全体としてどのようにすれば安曇野市の文化が向上するかを協議していくものです。市全体のデザイン化の中で、10年あるいは20年先を見据えたときに、どうやって動いていったら良いかということ、を議論しなければなりません。今日は非常に多くの課題が浮き彫りになりました。これからも、このような形でさらに議論していきたいと思ひます。

協議については以上で閉じたいと思ひます。長時間にわたりご協力ありがとうございました。

(2) その他

●新市立博物館構想、安曇野風土記について（事務局）

事務局・・・ 次回の会議は10月頃を予定しております。平成29年度に向けて、具体的なご提言をいただければありがたいと思います。本日は長時間にわたりご協議いただきまして、ありがとうございました。

以上

※会議概要は、原則として公開します。

※会議を非公開又は一部非公開とした場合は、その理由を記載してください。